

事業番号 2022 - 官房 - 新23 - 0054

令和4年度行政事業レビューシート (内閣官房)

事業名	ひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業 (仮称)			担当部局庁	内閣官房副長官補		作成責任者		
事業開始年度	令和5年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	こども家庭庁設立準備室(福祉・保健政策担当)		参事官 山口 正行		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	令和3年度母子家庭等対策総合支援事業費(ひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業(令和3年度補正予算分)分の国庫補助について(厚生労働事務次官通知令和4年2月8日 厚生労働省発子0208第1号))				
主要政策・施策	子ども・若者育成支援、少子化社会対策			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新型コロナウイルス感染症の影響等により困窮するひとり親家庭を始めとした、要支援世帯の子ども等を対象に、食事や食品・食材、学用品、生活必需品の提供を行う子ども食堂や子ども宅食、フードパントリー等(以下「子ども食堂等」という)を実施する事業者に対して、広域的に運営支援、物資支援等の支援を行う民間団体(以下「中間支援法人」という)の取組を支援することにより、子どもの貧困や孤独・孤立への緊急的な支援を行うことを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	子どもの貧困や孤独・孤立への緊急的な対応として、ひとり親家庭等の要支援世帯を対象とした子ども食堂等に対し、運営や物資の支援等を行う中間支援法人を公募し、その取組に要する経費を補助する。 ・実施主体:民間団体 ・補助率:10/10								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	2,547		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		0	0	0	0	2,547		
	執行額		0	0	0				
執行率 (%)		-	-	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		-	-	-					
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	母子家庭等対策費補助金	-	2,547	重要政策推進枠:2,547百万円					
	計	-	2,547						
活動内容 (アクティビティ)	子どもの貧困や孤独・孤立への緊急的な対応として、ひとり親家庭等の要支援世帯を対象とした子ども食堂等に対し、運営や物資の支援等を行う中間支援法人を公募し、その取組に要する経費を補助する。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	子どもの貧困や孤独・孤立への緊急的な支援を行うこと	中間支援法人数	活動実績	件	-	-	-	-	-
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	単位当たりコスト=X/Y X=事業費 Y=中間支援法人数			単位当たり コスト	千円	-	-	-	-
				計算式	X/Y	-	-	-	-
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績					
	民間団体が行う多様な取組を公募により実施することを予定しており、目標値の設定は困難である。			本事業により、令和3年度において6団体に補助を行った。					
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	中間支援法人による助成事業の実施	公募により選ばれた民間団体の数	実績	%	-	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	-
達成度			%	-	-	-	-	-	

政策評価、新経 済・財政再生計 画との関係	政策評価	政策	こども・子育て支援の推進		
		施策	ひとり親家庭等への支援に関する施策の推進	政策評価書 URL	-
				該当箇所	-
事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	新型コロナウイルス感染症の影響等により、困窮するひとり親家庭等の子どもを対象とした、子ども食堂等を実施する事業者に対して、運営及び物資の支援を行う民間団体の取組を支援することにより、子どもの貧困や孤独・孤立への緊急的な支援を目的とした事業であり、国民のニーズがあり、社会のニーズを反映している。	
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	新型コロナウイルス感染症の影響等により、困窮するひとり親家庭等の子どもを対象とした、子ども食堂等を実施する事業者に対して、運営及び物資の支援を行う民間団体の取組を支援することにより、子どもの貧困や孤独・孤立への緊急的な支援を目的とした事業であり、国が実施すべき事業である。	
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	ひとり親家庭等の生活の安定と向上を図るために必要であり、優先度の高い事業である。	
事業の 効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-		
		一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
		競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
		受益者との負担関係は妥当であるか。	-		
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-		
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-		
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-		
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
事業の 有効性		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-		
		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-		
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		
関連 事業		関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
		事業番号	事業名		
			-		
			-		
点検・ 改善結果	点検結果	-			
	改善の 方向性	-			

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

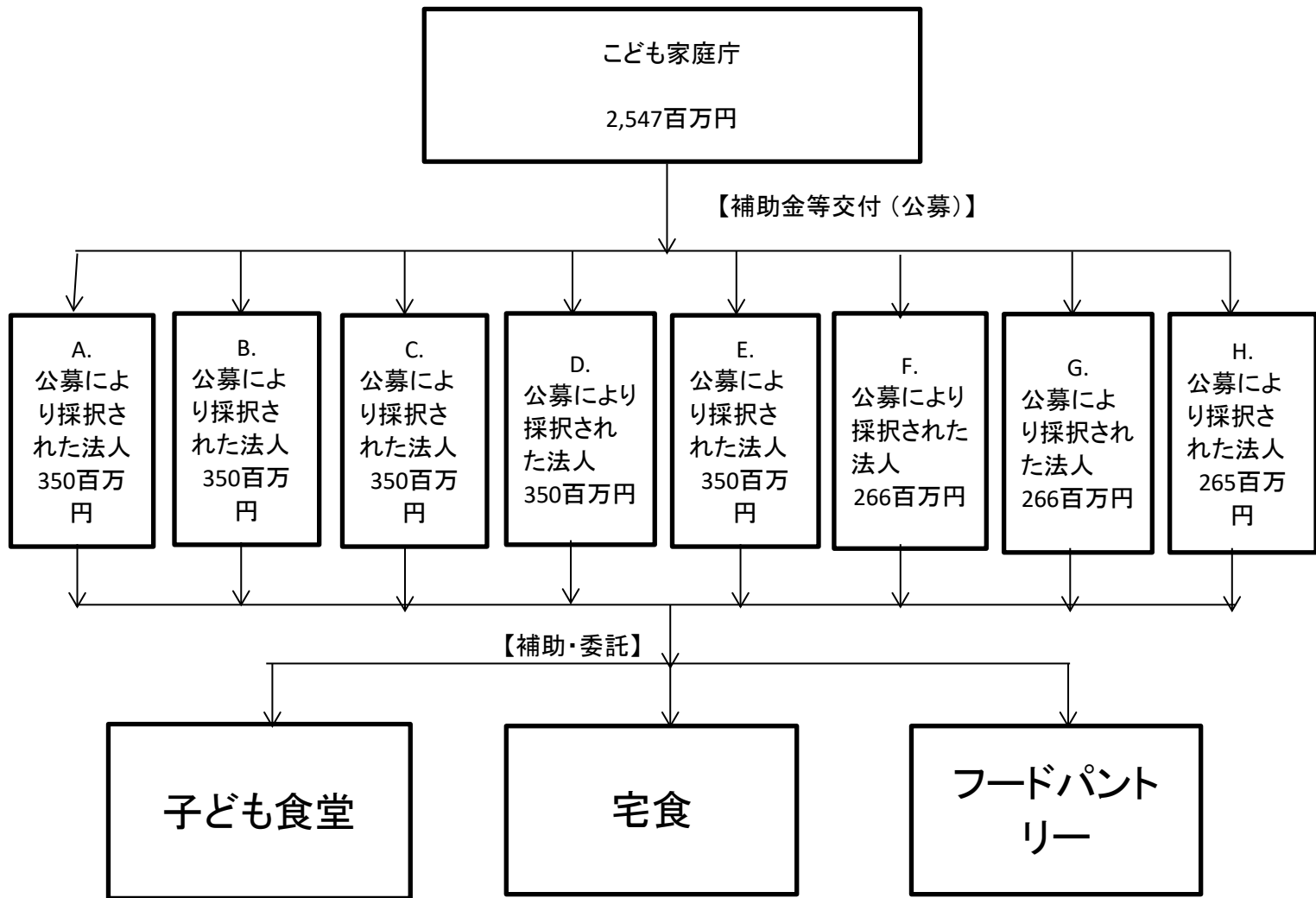
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

令和3年度

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)